

《目次》P1…大会長挨拶 P2…新会員紹介 P5…法人ワーキンググループからのお知らせ、HP 管理部の紹介
P6…学会・研修会報告 P8…各局・部からのお知らせ P10…病院紹介、ふるさと紹介
P11…ちょっと言い話、てっ!!

山梨県言語聴覚士会 第6回学術大会開催のご案内

大会長 河西 祐子
(春日居サイバーナイフ・リハビリ病院)

平成 25 年 11 月 10 日、山梨英和大学グリーンバンクホールにて、山梨県言語聴覚士会第 6 回学術大会を開催させていただくことになりました。

現在進められている社会保障制度改革において、医療・介護分野では、「病気・要介護状態になっても、なるべく早く住み慣れた地域でその人らしく生活する」ことを目指し、「医療機能の分化・連携」「地域包括ケアシステムの構築」という観点で施策が進んでいます。「医療から介護へ」「病院・施設から地域・在宅へ」という流れを円滑にするために、医療と介護の見直しが行われています。

社会制度が変化する中で、我々言語聴覚士には介護保険領域も含めて長期的な生活支援が求められています。その他のリハ関連領域においても、これまで以上に専門的な機能回復訓練や在宅での生活を想定した訓練の提供、各領域間の協働が重要かつ必要となります。また、介護予防やターミナルへの介入が求められるなど我々の職域は広がりつつあります。

このような時代の流れをふまえ、大会のテーマを「再考!! 言語聴覚療法の専門性と可能性～制度と現状をふまえて～」といたしました。

今大会では、医療・介護サービスのあり方が「地域完結型」に変わっていく中で、コミュニケーションや嚥下に問題のある方を支える専門家として、それぞれの立場で何ができるのか、また、今後の言語聴覚療法にどのような可能性があるのかを、共に考える機会としたいと思います。

午前的一般口演では、8 名の先生方に日頃の臨床や研究の成果を発表していただきます。内容的にも多岐にわたっており、言語聴覚士の臨床の広がりを実感しています。

午後は特別講演として、山梨県福祉保健部長寿福祉課の貫井信幸氏と介護老人保健施設 マロニ工苑の黒羽真美先生をお招きします。行政と言語聴覚士という異なる立場から、地域・在宅での高齢者の生活を支えるための示唆に富んだお話が伺えると思っております。

今大会が実り多きものとなりますよう、多くの皆様のご参加、ご協力をお願いいたします。

末筆になりましたが、大会の成功に向けて準備にあたって下さっている実行委員の方々に心より感謝申し上げます。



平成 25 年度新会員紹介



国立甲府病院

くわはら たくろう
栗原 拓郎

初めまして。「栗原（くわはら）」と申します。出身地は世界遺産でもある日光東照宮などで有名な「栃木県日光市」です。甲府の暑さにはまだ慣れませんが、山に囲まれた環境は故郷と似ています。以前は回復期病院にて勤務をしておりました。現在は、以前から興味があった小児領域で、日々勉強の毎日です。まだ経験・知識ともに浅く、未熟ですがどうぞ宜しくお願い致します。

春日居サイバーナイフ・リハビリ病院

あつみ ゆき
渥美 友紀

こんにちは。お茶・みかん・うなぎで有名な静岡県出身の渥美友紀です。聖隷クリストファー大学出身で、大学時代は浜松に住んでいました。特技は中学・高校時代に続けていたハンドベルで、趣味は映画観賞です。山梨県という新しい土地で暮らし始めて、慣れないことも多いですがこれから一生懸命学びたいと思います。まだまだ言語聴覚士として未熟な面ばかりですが、よろしく宜しくお願い致します。



春日居サイバーナイフ・リハビリ病院

ひが ありさ
比嘉 亜理沙

はいさい(こんにちは)。南国から来ました。ゴーヤー、もずく大好き沖縄県出身の比嘉です。山梨は沖縄よりとても暑いですが、夏バテにならないように過ごしています。学生時代はテニス部に所属しており、スポーツ全般が好きです。一人暮らしを始めて数カ月経ちますが、家事や仕事などまだまだ慣れないことが多いです。これからも勉強会等を積極的に参加し、多くの事を学びたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いします。

健康科学大学リハビリテーションクリニック

みつい まこと
三井 真琴

今年度から結婚を機に地元の当クリニックに復職しました。数年のブランクに加え、始めて小児領域に携わることになり、1 から勉強するつもりで日々奮闘中です。毎日の訓練で患者様やご家族に触れ、言語聴覚士の大切さを感じることができ、心から復職してよかったと思っています。諸先輩方から多くのことを学び、成長していきたいです。今後ともよろしく御願い致します。



笛吹中央病院

やまだ とおる
山田 徹

出身は山梨県甲斐市。前職は介護福祉士として老人福祉施設に勤めていました。仕事を通じて、摂食嚥下についてより専門的に勉強したく言語聴覚士の道に進みました。言語聴覚士は摂食嚥下だけでなく「ことば」というコミュニケーションも仕事としています。自分らしい生活を構築できるよう、患者様の立場に立ったリハビリを提供していきたいです。笑顔をモットーに、精一杯頑張っていきますのでご指導宜しくお願い致します。



甲府城南病院

おの ひかる
小野 光

高校2年の夏に言語聴覚士を目指す事を決めましたが、山梨には言語聴覚士の養成校がなく、栃木県の国際医療福祉大学に進学しました。念願であった言語聴覚士となり、実習病院でもあった甲府城南病院に入職し、5ヶ月。わからないことも多く、自分の未熟さに落ち込む事もありますが、患者様や先輩方から多くの事を学び、患者様の心に寄り添える様な言語聴覚士を目指して頑張っていきたいです。





甲州リハビリテーション病院 いまい みき
今井 美紀

甲州リハビリテーション病院に所属しております今井美紀と申します。就職して5ヶ月がたちますが、勉強することは尽きず、自分に足りないものを考えさせられる毎日です。患者様から教えられることも多くあります。先輩方から、検査・訓練についてだけでなく、相手との接し方や職種間の連携の仕方など様々なことを教えていただいています。これからも、自ら学ぶべきことを積極的に吸収していきたいと思ひます。

甲州リハビリテーション病院 こいけ みほ
小池 美帆

甲州リハビリテーション病院病棟部に所属しております小池美帆と申します。生まれ育った山梨県に戻り、こうして言語聴覚士として働くことができていることを、心から幸せに思っております。改めて考えてみると仕事を始めてからもう5ヶ月目に突入しようとしていることに驚きました。一日一日を大切に、しっかり学んで、全ては患者様に還元していけたらと思ひます。先輩方ご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。



石和温泉病院 いとう くにひろ
伊藤 邦彦

出身は群馬県沼田市、出身校は東海医療科学専門学校。趣味は旅行、ウォーキングです。今年で30歳になり、業務終了後はクタクタになり、20代前半の頃とは違ふと実感しています。休日は、趣味のウォーキングをして体力作りとストレス解消に励んでいます。厳しくも優しい上司や先輩方から、様々なことを学ばせて頂き、自分の視野の狭さを痛感する毎日です。どうぞよろしくお願い致します。

石和温泉病院 やまだ もえ
山田 萌

出身は北杜市大泉町、出身校は帝京平成大学です。農家の娘として育ち今年トラクターと草刈機のデビューを果たしました。今から白菜作りをチャレンジしその白菜で鍋をすることが目標です。今後は言語聴覚士として日々学び、諸先生方の知識、技術を吸収していきたいと思ひます。よろしくお願い致します。



石和温泉病院 みすかみ ゆか
水上 結香

出身地は笛吹市一宮町、出身校は国際医療福祉大学です。私は星を観ることが好きです。大学生の頃、流星群の日に携帯が圏外になる程の山奥まで星を見に行ったりしました。山梨では良い場所が分からず…もしおすすめの場所があれば教えて下さい。仕事面では、まだまだ分からないこと、慣れないことも多くありますが、先輩方にご指導頂いたことを日々の臨床へ活かし、成長していけるよう頑張りたいと思ひます。よろしくお願い致します。

石和温泉病院 たかはし さとみ
高橋 里美

出身は山梨県山梨市、出身校は池袋にある西武学園医学技術専門学校です。歴史好きで、特に幕末や新撰組が好きです。働き始めてこの4ヶ月はあっという間に過ぎてしまいました。まだまだ未熟で至らないことも多く、ご迷惑をかけてしまうと思ひます。言語聴覚士として成長できるよう精一杯頑張っていきたいと思ひますので、よろしくお願い致します。



甲府共立診療所 ほんま たかゆき
本間 隆之

新潟から来ました本間隆之です。何の因果で越後から甲斐に来たのか自分でも不思議に思っていますが、私は子どもが好きで小児リハをやりたいと思っていたら山梨に来ることになっていました。私はゲームが好きで子ども達とゲームの話をするとつい夢中になってしまいます。童心を忘れず子ども達の気持ちに寄り添い、歌って踊れる言語聴覚士を目指して頑張ります。



市立甲府病院 くつな ゆい
 姓名 結依

私の出身は長野県飯田市で、岐阜県の専門学校を卒業しました。まだ山梨県はわからないことだらけなので、週末にはいろんな所にドライブして楽しんでいます。高校生の頃から懂れていた言語聴覚士になることができ、とても嬉しく思っています。仕事は大変な事ばかりで不安や悩みもありますが、たくさん学んで成長できるようにこれから頑張っていきたいと思ひます。ご迷惑をおかけすると思ひますがよろしくお願ひ致します。

山梨リハビリテーション病院 なかね ちあき
 中根 千晶

山梨リハビリテーション病院に入職しました、一年目の中根千晶です。実習先としてお世話になった場所で、日々先輩方を目標に業務に励んでいます。出身は埼玉で、学校は東京と、今まで山梨とは縁遠い生活でした。患者様のお話についていけるよう、これから山梨を知っていきたいと思ひます。少しでも多くの患者様のお役に立てるよう、先輩の先生方や県土会の皆様から学ばせていただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。



山梨リハビリテーション病院 ばば めぐみ
 馬場 恵

4月より山梨リハビリテーション病院に勤務しております、馬場恵と申します。以前は、神奈川県の急性期病院で約6年間勤務していましたが、結婚を機に山梨県に引っ越して来ました。まだまだ甲州弁に慣れず、また、地名を聞いても場所がよくわからないことも多いですが、少しずつ、山梨県の良いところを知っていけたら、と思ひています。今後も多くのことを学びたいと思ひておりますので、ご指導の程よろしくお願ひ致します。

山梨リハビリテーション病院 さくらい みき
 櫻井 美紀

昨年の11月から、山梨リハビリテーション病院に所属しています。櫻井美紀です。出身は、山梨市の山の上で、実家は葡萄農家です。今年も豊作でした。また現在私は、2歳男子の子育てをしています。息子の成長を喜ぶ一方で、私自身も言語聴覚士として日々成長していきたいと思ひています。経験年数も浅く、先輩方や患者様から学ぶことだらけの毎日です。皆様からのご指導、どうかよろしくお願ひ致します。



湯村温泉病院 やましろ えいき
 山城 瑛規

出身は沖縄県那覇市です。趣味は自転車で出かけることです。山梨県に来て早や5ヶ月が過ぎました。気候・食べ物・言葉(方言)などまだ慣れないこともありますが、学ぶことが多く新鮮な毎日です。言語聴覚士として、また社会人として未熟者ですが向上心を持って先輩方からも学び教養を高めていきたいと思ひます。ご指導の程宜しくお願ひ致します。

湯村温泉病院 おか だいき
 岡 大樹

出身は新潟県。出身校は新潟医療福祉大学。趣味は、ネットサーフィン、アウトドア。入職してから5ヶ月が経ちますが、未だにアパートから見える富士山には違和感を感じています。また新潟にはない暑さを体験しましたが、家ではクーラー、扇風機は使わず耐えました。この忍耐力で日々の臨床も頑張っていきたいと思ひます。皆様今後何卒よろしくお願ひ致します。



竜王リハビリテーション病院 いしかわ あすか
 石川 明日香

私は東京都八王子市の出身です。山梨県とはお隣同士ですが方言や地名など知らないことがたくさんあり患者様に教えて頂いています。言語聴覚士として、働き始めて4ヶ月が経ちました。慣れない仕事に悩むことも多々ありますが、私らしく笑顔で元気に患者様に接し、患者様にとって最良のリハビリが提供できればと思ひています。精一杯頑張っていきたいと思ひますのでご指導宜しくお願ひします。

法人化ワーキング・グループからのお知らせ

法人化ワーキング・グループでは、これまでに2度の作業部会を開き、定款案を作成いたしました。定款とは会社や社団法人などの組織のあり方を定める根本ルールであり、法人設立の手続き上、必ず作成しなければならない重要な書類です。

定款案は各会員へ配布および県土会ホームページに掲載し、会員のご意見を募集しました。寄せられたご意見は法人化ワーキング・グループで話し合い、意見と協議内容を県土会ホームページにて掲載し対応します。

今後の作業工程としては、公証役場の指導を経て、今年中に法人格取得の手続きを完了したいと考えております。

今年度の重要な事業である法人化への移行に関しては、皆様のご意見を伺いながら作業を進めていきます。会員皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

(文責 内山 量史)

ホームページ管理部の紹介

ホームページ管理部 部長 赤池 洋

ホームページ管理部は平成23年度より開設され、今年度で3年目を迎えます。会員だけではなく、他団体の方々にも「山梨県言語聴覚士会」の活動を知って頂き、また一般の方にも「言語聴覚士」の仕事を知って頂けるように情報発信しています。内容は①会長の部屋②各局の情報③会員向けのお薦め情報（推薦図書、ちょっと一息、イベント情報）④会報 web 版⑤会員所属一覧⑥学術大会⑦関連団体からの情報など、盛り沢山となっています。特に「会長の部屋」は閲覧数トップであり、日本語聴覚士協会、県土会の活動報告や他団体への参加記などが、また「各局の情報」では研修会の案内だけでなく参加記も随時アップされています。

そして今年度からは「県内四季折々の写真ギャラリー」を開設し、他県出身の言語聴覚士や学生さんに活用して頂き、臨床業務やプライベートに生かして頂きたいと思っております。今後、山梨県で働きたい、永住したいと思っただけでなく参加記も随時アップされています。



学会・研修会報告

第 14 回日本言語聴覚学会 発表報告

湯村温泉病院 矢澤 史帆

平成 25 年 6 月 28 日・29 日の 2 日間にわたり「第 14 回日本言語聴覚学会」が札幌にて開催されました。今回は初めて演者として参加し、「多彩な高次脳機能障害を呈した症例に対する高次脳機能および日常生活動作へのアプローチ」について発表させて頂きました。

抄録の作成では、興味を持ってもらえるようなタイトルをつけることや限られた文字数の中でまとめることの難しさを痛感し、スライド作成では、甲府城南病院の中村先生から、聴衆を意識した見やすさと情報量に留意した作成方法をご指導頂きました。実際の発表では、質問に的確に答えることの難しさを感じ、これからの自分の課題が明確となりました。また、日々の臨床を改めて振り返ることができ、多くの発表を聴くことで現状の自分の力量を確認できる場にもなりました。

講演やシンポジウムなども多岐にわたる内容であり、近年増加の認知症者に対するコミュニケーション支援について、実用的な支援方法も学ぶことができました。

今回の経験から新たな課題に気づけたことは大きく、これからの自分の成長が楽しみでもあり、そのための努力を惜しまず日々の業務に励みたいと思います。そして、より多くのことを患者さんに還元できるよう努めていきたいと思っています。

第 14 回日本言語聴覚学会 参加報告

巨摩共立病院 長嶺 里香

平成 25 年 6 月 28 日～29 日、北海道さっぽろ芸術文化の館にて開催された、第 14 回日本言語聴覚学会に参加させていただきました。

口頭演題では、全国の各分野でご活躍されている先生方の日頃の研究やアプローチ内容・成果を知ることができたことに加えて、新しい知見やアプローチ方法を学ぶことができました。

教育講演やシンポジウムでは、摂食・嚥下障害、認知症、高次脳機能障害の各分野で、65 歳以上の人口が急激に増加されるといわれている「2025 年問題」にむけて、言語聴覚士として、専門領域の拡大、業務内容の充実についてどのように取り組んでいったらよいのかといった内容の講演でした。講演を聴講して、摂食・嚥下障害については、脳血管疾患だけでなく内科的な要因や認知症、高次脳機能障害など様々な原因で出現するため、患者様の全体像を踏まえ評価・アプローチすることが回復の鍵になっていくのではないかと思います。また、入院リハビリに携わる立場から、今後は言語聴覚療法の処方が出ている患者様だけではなく、入院患者様一人一人に目を向けていくことが必要であると思いました。

今回、学会に参加させていただいた事で最新の知識・技術の習得だけでなく、今までの私自身の言語聴覚士としての在り方も振り返るきっかけとなりました。学会で学んだことを今後の臨床に活かしていきたいと思っています。

「日本高次脳機能障害学会 夏季教育研修講座」

春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 坂井 李菜

7月13日(土)～15日(月)にパシフィコ横浜で日本高次脳機能障害学会2013年夏季教育研修講座が開催され、私は13、14日のAコース「失語症候とその対応」に参加しました。失語症の診断や重度失語症の症状・対応など幅広い内容の講義、討議が行われました。症状・評価のみではなく、その後のアプローチについても多く紹介されており、臨床現場ですぐに生かせる内容となっていました。

重度失語症者に対しての講義では、全般的精神機能の低下が合併しやすく、残されたコミュニケーション機能や患者様の反応が引き出せそうなことは何かという視点がアプローチを考える上で大切だと再認識しました。実際のアプローチについて学び、“わかる”“伝わる”ということが増え、コミュニケーションが楽しくなっていくようなアプローチができるよう、日々臨床に臨んでいきたいと思いました。

今回の講義で松田先生が「人によっていろいろな考え方がある。それを自分で整理し、さらに考えることが必要である。」と話してくださいました。今回、様々な先生方から失語症の症状や対応などについて幅広く学ばせていただき、今後の自分の臨床に生かせるよう、整理、考え、自分の中での知識にしていきたいと思いました。

「日本コミュニケーション障害学会 学術講演会」

甲府城南病院 脇坂 英寿

平成25年7月20、21日に行われた、第39回学術講演会に参加しました。

学会テーマ「生きる、伝えあうーことばを紡ぐ、こころを織りなす、いのちをつなぐー」の通り「生きること、言葉を伝えること」の中で、私達言語聴覚士の役割を深く考えさせられる経験となりました。

シンポジウムでは長谷川和子先生を座長に迎え、臨床や哲学等様々な観点から「食べる」ことを考えさせられました。特別講演では3度の脳出血で高次脳機能障害の後遺症を抱える医師、山田規畝子先生を迎え、貴重な体験を語って頂きました。そして水田秀子先生による教育講演「臨床に活きる研究的姿勢を」では、検査を行うだけでなく、障害の分析、仮説の立案、訓練結果の検証を繰り返すことが重要というお話を伺い、普段の臨床態度を見直すよう「活」を入れて頂きました。

また本学会では、スタッフとしても参加しました。直前の会場変更、予想以上の参加者など想定外の出来事もありましたが、学会の成功に向けてスタッフ一丸となって取り組んだ経験は、私にとって得難いものとなりました。皆さんも是非、学会に参加するだけでなくスタッフとしても、一緒に頑張ってみませんか？

各局・部からのお知らせ

事務局 《局長》 河西 祐子 (春日居サイバーナイフ・リハビリ病院)

- ・平成 25 年度第 2 回理事会 6 月 13 日 (木)、第 3 回理事会 8 月 9 日 (金)、第 4 回理事会 10 月 1 日 (火) を開催しました。詳細はホームページに掲載してありますのでご覧ください。
- ・これまでに開催された講演会 DVD の貸出しを行っています。DVD リスト・貸出し規約は、ホームページに掲載してありますので、貸出しを希望される方は、総務部までご連絡下さい。
- ・定期総会以降の会員動向についてお知らせします。

改姓 (旧姓) : 武井 (石原) 徳子先生 (甲州リハビリテーション病院)

退会 : 小沢美和子先生 (石和温泉病院) 新海千春先生 (白根徳洲会病院)

岡田絵里菜先生 (一宮温泉病院) 小俣健太郎先生 (甲州リハビリテーション病院)

※名簿記載事項に変更がありましたら、総務部河西まで FAX でご連絡下さい。ご協力を宜しくお願いいたします。

社会局 《局長》 赤池 三紀子 (湯村温泉病院)

<職能部>

- ・山梨県訪問リハビリテーション協議会が設立されたことについて、各関連機関への挨拶が無事終了しました。
- ・福島復興支援バスツアーが決定しました。日程は、10月20日(日)、21日(月)です。実際の被災地を見学し、我々は何ができるのかを改めて考えたいと思います。留守を守る皆様に有意義な話が出来よう、しっかり見てきます。

<地域連携部>

- ・例年出展している、いきいきねりんピックが今年度は、9月28日(土)小瀬スポーツ公園にて開催されました。多くの皆様のご協力をありがとうございました。
- ・山梨県訪問リハビリテーション協議会主催の実務者研修会が開催されます。日程は10月26日(土)、27日(日)。今回で4回目となります。
- ・小児部門では、「こどもの『ことば』の相談会」を12月1日(日)午前10時から午後3時まで善誘館小学校 ことばの教室にて実施いたします。
- ・「第18回山梨県失語症者のつどい」が開催されます。日時は、11月17日(日)午前10時20分開会の予定です。言語聴覚士のボランティアを募っていますので、多くの方のご協力をお願い申し上げます。

学術局 《局長》 中村 晴江 (甲府城南病院)

平成25年度前期の学術局主催の研修会は多くの会員のご参加をいただき、盛会のうちに終了することができました。後期もより充実した内容の研修会を開催できるよう部員一同頑張りますので、皆様のご協力・ご参加をお願いいたします。

<学術部>

*平成25年度第2回学術講演会

日時：平成25年10月7日(月) 18:30~

会場：大木記念ホール

講師：長谷川 和子先生(山梨リハビリテーション病院)

テーマ：「コミュニケーションの視点から運動を診る」

*平成25年度第3回学術講演会

日時：平成25年12月5日(木) 18:30~

会場：大木記念ホール

講師：井原 くみ子先生

テーマ：「言語聴覚士に活かすコーチング」(仮)

<研修部>

①症例検討会

*平成25年度第4回症例検討会

日時：平成25年10月17日(木) 18:30~

会場：甲府市東公民館 大ホール

発表者：①宮下 和也先生(笛吹中央病院)

バイザー：佐々木 蘭子先生(春日居サイバーナイフ・リハビリ病院)

②又吉 梓先生(湯村温泉病院)

バイザー：中島 さなえ先生(石和共立病院)

スーパーバイザー：望月 真由美先生(石和共立病院)

*平成25年度第5回症例検討会

日時：平成25年12月12日(木) 18:30~ ※通常と異なり、第2木曜となります。

会場：甲府市東公民館 大ホール

発表者：①舟越 誠治先生(富士吉田市立病院)

バイザー：大和 さわか先生(健康科学大学リハビリテーションクリニック)

②小林 加苗先生(竜王リハビリテーション病院)

バイザー：小口 陽子先生(山梨リハビリテーション病院)

スーパーバイザー：保坂 敏男先生(山梨リハビリテーション病院)

②小児領域勉強会

*平成25年度第3回小児領域勉強会

日時：平成25年9月14日(土) 14:30~

会場：甲府共立診療所

講師：小池 京子先生(国立病院機構甲府病院)

内容：「小児の口腔機能の発達について」

<教育部>

*平成25年度第3回新卒者研修会

日時：平成25年9月25日(水) 18:30~21:00

会場：甲府市東公民館 大ホール

内容：第1部 「対人コミュニケーションの基礎Ⅱ」

<新入会員対象>

第2部 「嚥下障害の評価と実際」

講師：小澤 章先生(おざわ歯科医院院長) <全会員対象>

広報局 《局長》 武井 徳子 (甲州リハビリテーション病院)

<会報編集部>

・第27号 平成25年10月発行 ・第28号 平成26年2月発行予定

<ホームページ管理部>

山梨県言語聴覚士会ホームページの管理・運営を行っています。

第6回学術大会のページと一般社団法人化ワーキンググループのページを開設し、随時更新予定です。トップページの写真は会員の協力により、毎月更新できることになりました。ぜひ、ご覧いただきご活用下さい。

病院紹介

甲府共立診療所

当診は甲府共立病院の外来機能を担っており、甲府共立病院南側の隣接地に位置しています。約20の診療科があり、リハビリテーションは小児、訪問、整形の3つがあります。今回は言語聴覚士が在籍する小児リハビリのご紹介をします。



甲府共立診療所 小児リハは、平成25年度現在、言語聴覚士3名（他院所からの支援2名）、作業療法士3名、理学療法士（他院所からの支援）1名で構成されています。同じく、石和共立病院、巨摩共立病院でも小児リハビリは展開されています。対象年齢は幅広く、全体の約6割が乳幼児期、残り4割は学齢期のお子さんです。お子さんの障害像は、知的障害や広汎性発達障害が最も多く、ADHD、LD、脳性麻痺など多岐に渡ります。主な内容としては、乳幼児健診、発達評価・相談、遊びを通しての個別指導・支援、集団指導、療育活動などを行っています。小児リハでは、発達支援のみならず、お子さんのご家族への育児指導・支援を求められます。地域の関係機関や他職種と連携しながら、子どもたちの健やかな成長・発達を支えていきたいです。

（文責 宮里 なつき）

ふるさと紹介

山梨リハビリテーション病院 萩原 由香

都会と田舎が混在する、千葉県を簡単に紹介します。

☆ベイ・東葛飾エリア：西北部に位置し、都心のベッドタウンです。ご存知東京ディズニーリゾート、幕張メッセ、千葉マリンスタジアムがあります。

☆北総エリア：北東部に位置し、自然豊かな地帯です。日本の玄関・成田国際空港、初詣の人出で上位にランキングされる成田山新勝寺、山や離島を除くと日本で1番早く初日の出が拝める犬吠埼があります。

☆九十九里エリア：県東部、太平洋に面して約66kmに及ぶ九十九里浜海岸を中心としたエリアで、海水浴客やサーファーに人気です。地引網体験ができます。

☆南房総エリア：県南部、海洋性の温暖な気候に恵まれ、一年中過ごしやすいのが魅力です。電車だけでなく、東京湾アクアラインや東京湾フェリーでのアクセスもできます。

美味しい名産品もあります。梨、枇杷、ぬれ煎餅、落花生。落花生は殻付きが香ばしくてお勧めですが、ゆで落花生も食感がクセになりますので是非ご賞味下さい。ご飯のお伴には鰯の角煮や鰯のゴマ漬けがお勧めです。

山梨から日帰りで行ける観光スポットとして候補地に加えていただけると幸いです。



（写真：銚子市 HP より）

～ちよつといい話～

国立病院機構甲府病院 小池 京子

山梨に来て3年が経った頃、東京の職場で一緒だった先輩から連絡が来ました。以前担当した患者さんが再入院され、私に会いたがっているとのこと。懐かしさもあり、お見舞いに伺い、思い出話に花が咲きました。患者さんは重度の構音障害と嚥下障害があり、嚥下食への拒否もあって、「食べたい気持ちを引き出すにはどうしたらいいか？」奥様と相談して好物の鰻を試みたことがありました。奥様に小骨を抜き、裏ごししてきてもらい、タレに少しとろみをつけ、包んで食べてもらう。食べたご本人はニンマリといい笑顔。作戦が功を奏したのか、拒否は減り、安全に食事ができるようになって退院されました。その日、奥様が私に紙の束を見せてくれました。それは入院中の全ての食札で、奥様のメモや私のコメントが記されたものでした。「仏壇に供えて、毎朝『今日も安全にご飯が食べられますように』とご先祖様ではなく、食札にお願いするんです」と。その束はすいぶん色が褪せていましたが、私は初心に帰り、新鮮な気持ちになりました。つらいリハビリ生活の中でも、時間が経った時、心温まる思い出を患者さんと共有できる言語聴覚士でいたいと。そして、今も患者さんが鰻を食べてにっこりと笑顔で過ごされていることを願うばかりです。

て！！行ってみるじゃん ～山梨県立リニア見学センター～

* 甲州弁で
【てっ】驚いた様子
【行ってみるじゃん】行ってみよう

富士急行線田野倉駅を下車し20分ほど歩くと、山梨県立リニア見学センターに辿り着きます。リニア見学センターは、山梨リニア実験線の走行試験開始に合わせた開館された県立の施設です。走行試験は数年前に一旦中断となりましたが、今年8月29日より再開されました。現在、リニア走行試験の様子を見学できるのは、国内でここだけだそうです。東京と大阪を約1時間で結ぶと言われているリニア中央新幹線。実現に向け着々と計画がすすめられています。



センターは3階建てで、1階は売店、記念撮影用模型があります。売店で、山梨県出身の歌手が歌っている「リニア讃歌」というカセットテープが販売されていたのですが、少々目立っていました。皆さんはこの歌をご存知ですか？2階の展示室では、リニアのメカニズムやリニア新幹線の計画などについて紹介されています。3階展望室では、リニア実験線を間近で見ることができます。

館内は地味な雰囲気ですが、鉄道に詳しくない人でも分かりやすく展示されているので楽しめると思います。ぜひ一度行って見て下さい。ちなみに「リニア讃歌」のカセットテープは在庫限りで販売終了だそうです。

(文責 丸井 章子)

<編集後記>

記録的猛暑となった今年の夏もようやく過ぎ、この会報が皆さんの手元に届く頃には、さわやかな秋の気候となっているでしょうか。

先日の2020年東京オリンピック開催という嬉しいニュースに湧き立つ日本ですが、そんなオリンピックに出る一流アスリートですら、悩み迷いながらの毎日を過ごしているとテレビで見ました。そんな時は、原点に立ち戻って考えることが多いそうです。

新入会員の皆さんは、仕事を始め約半年。楽しいことと同時に、いろいろと悩みや不安を抱えながら仕事に励んでいることと思います。私も悩みながら臨床を行う日々ですが、この仕事を志した時、患者さんに笑顔になってもらいたいと感じた原点を忘れずに、患者さんと向き合っていきたいと思います。

<メンバー>

山梨県言語聴覚士会ニュース

<発行所> 山梨県言語聴覚士会

<発行人> 内山 量史

<編集> 山梨県言語聴覚士会 広報局会報編集部

甲州リハビリテーション病院 武井 徳子・赤池 絢

石和温泉病院 高橋 正和・坂井 隆一

石和共立病院 小池 和樹

一宮温泉病院 杉山 達也・倉島 雪乃

春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 外間 玲香

甲府共立診療所 宮里 なつき

甲府共立病院 山崎 結

甲府城南病院 廣瀬 由紀・脇坂 英寿

市立甲府病院 丸井 章子

湯村温泉病院 千田 亜也子

<事務局> 春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 言語療法科内

〒406-0014 山梨県笛吹市春日居町国府 436

TEL:0553(26)4126 FAX:0553(26)4366

<発行日>2013年10月1日 第27刊